

2024年10月23日

Tableauを活用したデータ利活用の全社的推進について

株式会社ひろぎんホールディングス（社長 部谷 俊雄、以下「当社」）では、データ利活用の全社的な推進を図っております。施策の一つとして、当社子会社の株式会社広島銀行（頭取 清宗 一男、以下「広島銀行」）にビジュアル分析プラットフォーム「Tableau」を導入し、活用を本格化しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 背景・目的

当社グループでは、「中期計画2024」の“当社グループ・お客さま・地域における変革への取組み”について、DXを“戦略のドライバー”の一つとしています。

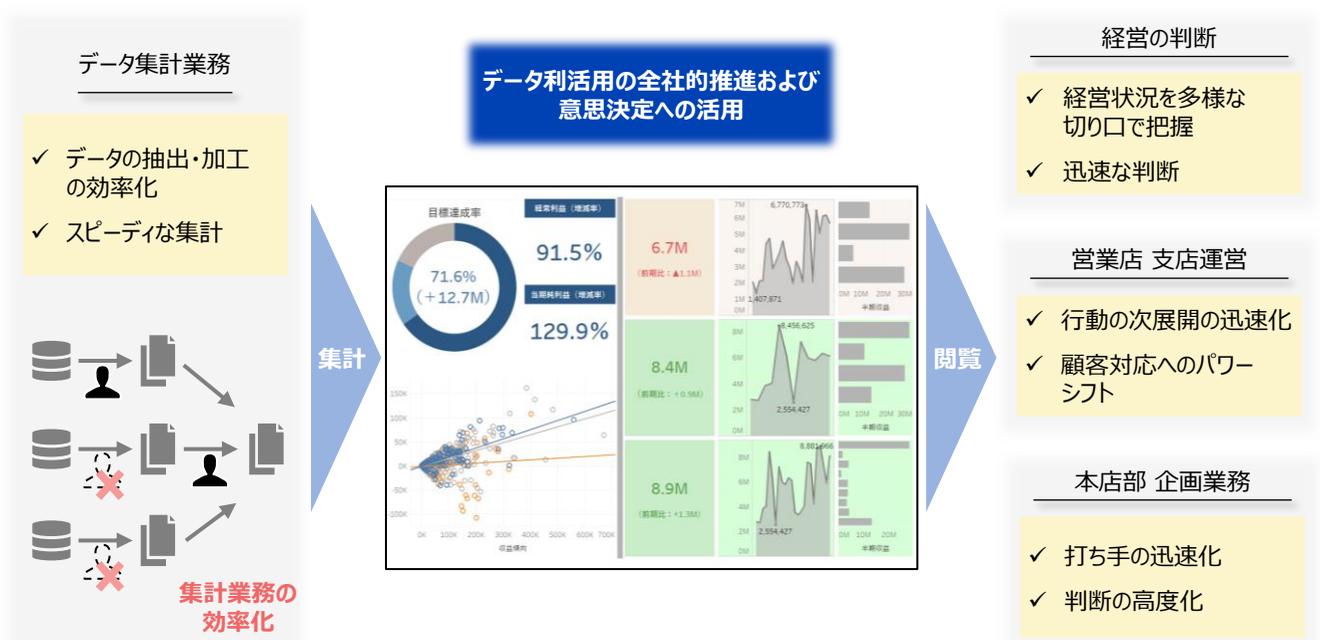
また、DXを推進するために必要な構造変革として、“データ利活用”への取組みを掲げており、「データ利活用の全社的推進および意思決定への活用」を実現するための施策としてTableauを導入しました。

2. TableauによるDX化

広島銀行では、2024年6月にTableauを導入しました。現在は、経営・営業店・本店部の多くの役職員が利用し、活用が本格化しております。

今後は、本店部のデータ集計業務等の効率化に加え、ダッシュボードを活用することで、経営状況の迅速な把握や判断・アクションの高度化を実現し、業務の変革を進めていきます。

《Tableauによる業務効率化と業務高度化のイメージ》



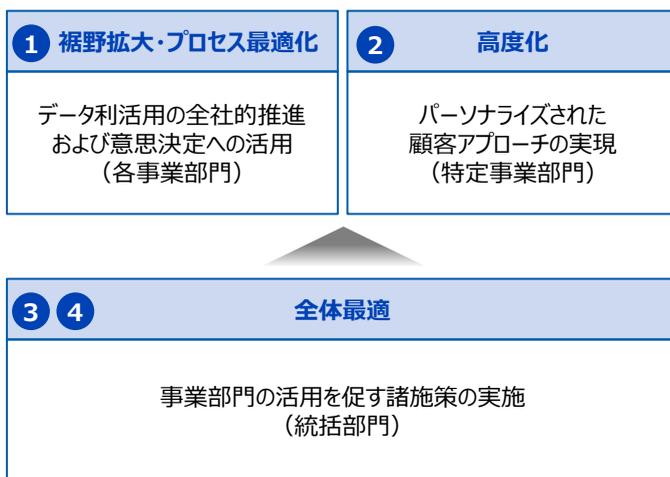
3. 今後の取組方針

当社グループでは、データ利活用の高度化をグループ全体における各種戦略の実現を支えるコア原動力として位置づけ、以下の状態を目指していきます。

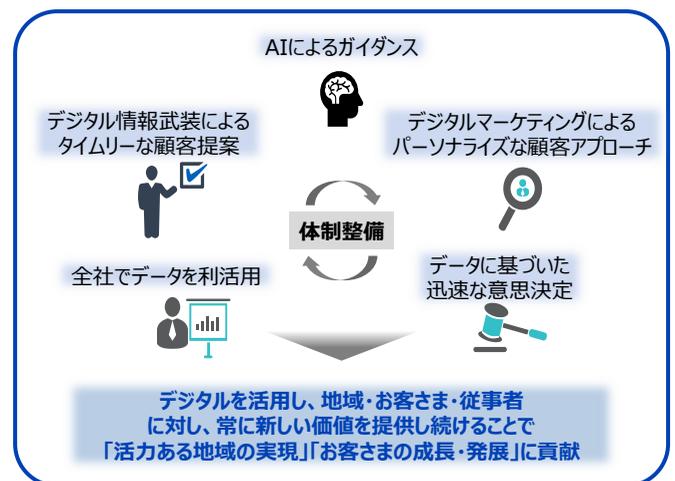
- 1 全社的に業務上でのデータ利活用が広がり、本質的議論・意思決定への活用が定着している
- 2 パーソナライズされた顧客アプローチに向け、デジタルマーケティング・分析が高度化され、顧客への価値提供が図られている
- 3 グループ内で情報が共有され、真の顧客課題解決に向けた提案が行われている
- 4 これらの実現に向け、知見・ノウハウの蓄積、プロセス・インフラ・体制・人財育成等の整備が図られている

Tableau導入による「データ利活用の全社的推進および意思決定への活用」の取組みに加え、データ整備や人財育成、体制の構築、運営ルールの策定等の整備を進めていきます。

《データ利活用の取組領域》



《展開イメージ》



(ご参考)

Tableauは、Salesforceの製品であり、株式会社NTTデータの支援のもと導入しています。今後も両社と連携し、さまざまなソリューションや施策を通じたDX化により、積極的に競争力向上を図っていきます。

以上

本件に対するお問い合わせ先

株式会社ひろぎんホールディングス
DX統括部 DX統括グループ
TEL (082) 245-5151 (代表)